

ピアホームだより

2015. 4. 10

27年度スタートにあたり

3月7日、第4回NPO法人理事会が開催され、27年度の事業計画が検討されました。

本年4月には本部も移転、副理事長に加藤さんに就任頂き、随時3役会を開催する等、アドボケイト会の将来について突っ込んだ検討をしてまいりました。そのことも踏まえ、今年度これまでよりも少しは先を見通した計画を提示できたものと思います。

27年度事業計画（案）

はじめに

リトルハウスは障害者自立支援法の就労継続支援B型事業へ移行を果たした後、25年・26年度と利用者数も若干伸び、補助金による運営をしていた24年度以前の体制よりも収入の確保が出来ました。

21年に開始したグループホームピアホームも堅実に運営出来ていることから、現在ア

ドボケイト会の経営は順調です。26年4月には、新しい施設へ本部・リトルハウスの移転を果たし、資産の効果的な移転を図ったところです。

リトルハウス開始から11年、ピアホームも5月で6年、板橋区における社会復帰施設として、年々その社会定役割も増して来ています。板橋区における精神医療福祉の一翼を担う責任を自覚し、今後とも地域との連携を図りながら数年先を見据えたアドボケイト会の事業展開を図って行きます。

この事を踏まえ、27～29年の3カ年は次の3本柱で運営して行きます。

- 一 余裕が出た資金を有効に活用し新しい事業展開の礎として行く。
- 一 着実に持続的な運営を図るため、組織運営体制を確立して行く。
- 一 関係施設との連携を一層密にして行く。

アドボケイト会事業計画（27～29年）

施設間連携強化の実施

- ① 交流会・勉強会
- ② 実習交流

27年度ピアホームの事業方針

- 1 スムーズな入退去

2 滞在型グループホームピアホームⅡの増設（3室→4室）

ピアホームは、昨年度から今年度にかけて利用者の頻繁な出入りが続いています。丁度満期を迎えた方のケースばかりでなく、中途退所もありました。これは、GHが向かない—他者との関係づくりが難しく、むしろアパートなどの独り暮らしが向いている方が少なからずいる—ということを実感したからです。人と関わることの大切さを伝えることを怠ってはいけないと思いますが、苦勞の多い人生を生きて来た人がいて、そのこともそのまま受け入れるべきことも学びました。

新入居者の紹介

20代の若い利用者さんを迎えることになりました。統合失調症の方は症状が安定する頃は30代40代。当ホームもそんな方が多いのが現状の中で異色の存在？です。歴史が得意と云うK. Mさん、とても理知的で政治にも関心が深い。皆さんにも大いに刺激を与えて下さいね。

今後のスケジュール

<4月6日> 「ういんぐ」のH氏計画相談開始

<4月19日> 白石先生主催第39回交流会